

埋文やまがた



2014 年 9 月 30 日

第 53 号

平成 26 年度の 出前授業より



今年も1000人以上の笑顔に出会うことができました。これからも、勉強がんばって下さいね。埋蔵文化財センターは、全力でお手伝いします。



- 上：火起こし体験
（尾花沢市立尾花沢小学校）
中：土器・石器に触れてみよう
（東根市立長瀬小学校）
下：縄文クッキー体験
（酒田市立松山小学校）

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3246 山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：http://www.yamagatamaibun.or.jp

メールアドレス：yac@yamagatamaibun.or.jp

平成26年度 山形県内の発掘調査

今年度は、国土交通省・山形県から委託を受け、4遺跡延べ6件の発掘調査を実施します。また、発掘調査の終了した遺跡の整理作業を行い、延べ11遺跡の報告書を刊行します。

発掘調査事業

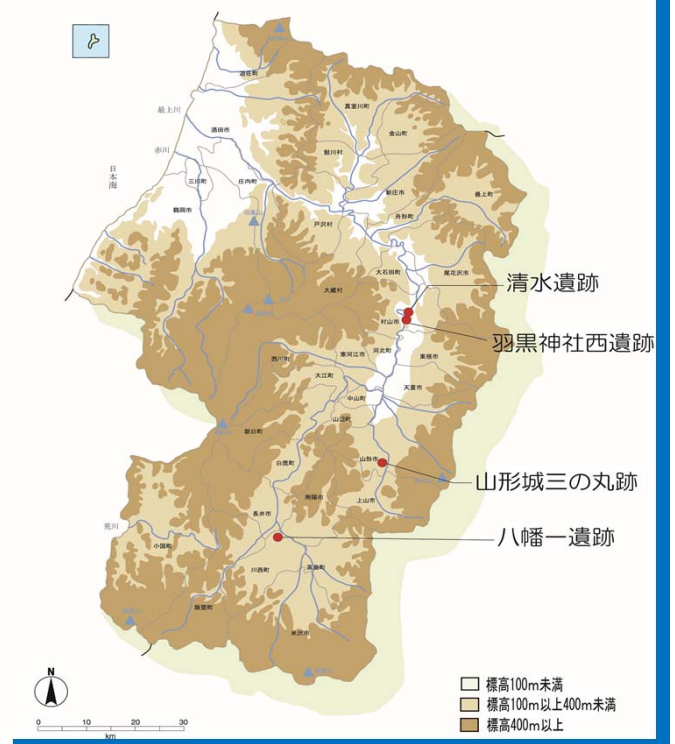
(8月15日現在)

No	遺 跡 名	市町村	時代区分	種別	調 査 期 間
1	しず 清水遺跡7次	村山市	奈良・平安	集落跡	6月2日～11月28日
2	清水遺跡8次	村山市	縄文・奈良・平安	集落跡	6月2日～11月28日
3	山形城三の丸跡14次	山形市	奈良・平安・中世・近世	城館跡	5月20日～11月28日
4	山形城三の丸跡15次	山形市	奈良・平安・中世・近世	城館跡	6月2日～10月24日
5	はぐろじんじやにし 羽黒神社西遺跡	村山市	縄 文	集落跡	5月19日～10月31日
6	やわないち 八幡一遺跡	川西町	奈良・平安	集落跡	5月20日～11月19日

整理作業

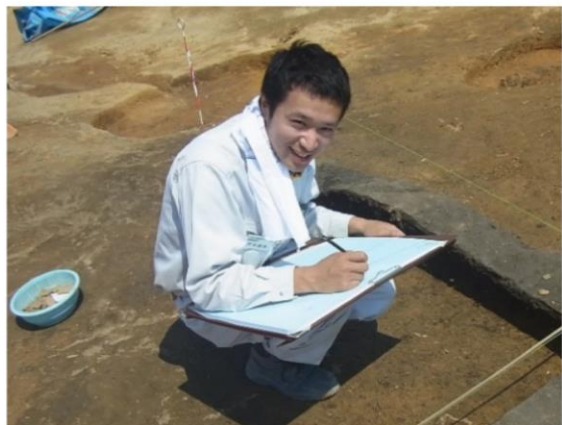
No	遺跡名	市町村	業務内容
1	どうで 道出遺跡1次	村山市	報告書作成・刊行
2	道出遺跡2次	村山市	報告書作成・刊行
3	にしやち 西谷地b遺跡1・2次	米沢市	報告書作成・刊行
4	ぬまぶくろ 沼袋遺跡	東根市	報告書作成・刊行
5	たむかい 田向遺跡1・2次	村山市	報告書作成・刊行
6	田向2遺跡1・2次	村山市	報告書作成・刊行
7	きょうづかもり 経塚森遺跡	村山市	報告書作成・刊行
8	しずにし 清水西遺跡	村山市	報告書作成・刊行
9	ぬまた 沼田1遺跡	村山市	報告書作成・刊行
10	沼田2遺跡	村山市	報告書作成・刊行
11	もとじゅくきた 元宿北遺跡	川西町	報告書作成・刊行
12	はせがみ 馳上遺跡2～4・6次	米沢市	報告書作成
13	はったん 八反遺跡1～3次	東根市	報告書作成
14	せみた 蟬田遺跡1・2次	村山市	報告書作成

平成26年度 発掘調査遺跡



復興支援発掘調査の現場から

東日本大震災から、はや3年あまり。東北地方被災3県の復興事業推進が急がれていますが、それに伴う埋蔵文化財の発掘調査も各地で行われています。その支援のため、全国各地から発掘調査員が派遣されており、山形県埋蔵文化財センターからは、天本昌希調査研究員が出向しています。今回はその仕事の様子を少し紹介いたします。



天本調査研究員近影（天化沢A遺跡にて）

東日本大震災の復興支援のため、平成25年度から福島県文化振興財団に出向して2年目を迎えました。現在は南相馬市の原町火力発電所のすぐ近くにある「天化沢A遺跡」を担当しています。

私の主な仕事は、道路建設や土砂採取などの大規模な復興工事に先立ち、その土地に眠る埋蔵文化財の発掘調査を実施することであり、福島の職員の方々と共に、栃木、東京、大阪からの出向職員と私からなる混成チームで福島県の浜通りを中心に調査を実施しています。

浜通りには、たくさんの遺跡が確認されていますが、特筆すべきはこの地域の砂浜からとれる良質な砂鉄を原料とした製鉄遺跡群の存在でしょう。山形においては、ほとんど確認されていない

製鉄遺跡ですが、浜通りには全国でも類をみないほど密集して発見されているのです。去年、今年と私の担当する遺跡も製鉄遺跡でした。私自身、とても貴重な経験をすることができましたし、地元の方々へ説明するとき、外部の私が語ることで他にはないこの地域ならではの重要な遺跡であることを強調できたかと思います。

復興事業に伴い遺跡が発見されたとなると、復興をとるか文化財をとるかという二者択一の議論になりがちです。しかし、現地では復興工事側と綿密に打ち合わせを行い、工事を進めながら遺跡の調査も実施するということが可能にしています。復興と文化財保護とを両立させるため、遺跡の調査に遅れがでないよう日々の業務に臨んでいます。

福島県の被災地には、立ち入りできない場所も多く、復興にはまだまだ多くの時間と人手を要することでしょう。隣県である我々は、今後とも息の長い支援を続けていくことが重要と考えています。（天本昌希）



製鉄炉は、操業ごとに壊されるため、遺跡には大量の炉壁や羽口（送風管）がのこされます。（南狼沢A遺跡）



浜通りの複雑に入り組んだ斜面地に、製鉄炉とその燃料となる木炭をつくる窯がつくられます。（天化沢A遺跡）

ふるさと考古学講座(1)

展示:平成26年7月19日(土)から

体験:平成26年8月17日(日)

特別展示

『上山と周辺の弥生・古墳時代』

体験講座

『昔の人のくらしを知ろう』

8月17日(日) 午前と午後の2回行われたギャラリートーク



↑ ギャラリートーク

← 石器製作実演

↓ 縄文服体験



↑ 弓矢体験

← 上山城

↓ 勾玉作り体験



体験講座では、今年から再生琥珀を使った勾玉作りを取り入れてみました。従来の滑石に比べ堅くて小さいので、作業はしづらかったようです。そのため思ったより時間がかかってしまいましたが、ピカピカに磨き上げられた琥珀製勾玉を見て、うれしそうな皆さんの顔が印象的でした。

ふるさと考古学講座(2) 平成26年8月10日(日)

遺跡を掘ってみよう！



まずは基本から！発掘の前に、羽黒神社西遺跡の特徴や出土品の種類、発掘の仕方などを勉強しました。



仕事の前は、準備運動で体をほぐします。



発掘体験の現場は、ご覧の通りの斜面です。かなりの雨でしたが、水はけの良い土でべたつかないので、思いのほか掘りやすかったです。



きれいな渦巻きの土器片が出土しました。縄文土器の縁の装飾部分だと思われます。約4000年も昔のものです。



雨が強くなり、ちょっと休憩



帰り際に質問してきた熱心なお子さんもうらっしゃいました。



土器が出てきたら、むやみに動かさずに、まずは串などでマークします。そして必要に応じて記録を取ってから、取り上げるようにします。

今年の「遺跡を掘ってみよう！」は、村山市の^{はぐろじんじやにし}羽黒神社西遺跡を会場に実施しました。同遺跡は縄文時代の集落跡で、村山市名取の清水の集落と最上川に挟まれた小高い場所にあります。表土除去作業の時から縄文中期のものと思われる遺物がすでにたくさん出土しており、発掘体験当日の成果にも期待が持たれました。

当日は台風11号の影響で、時折強い雨の降るあいにくの天気となり、カッパを着込んでの発掘体験となりましたが、参加者の皆さんは、元気に発掘に取り組んでおられました。今年は参加者全員が遺物を見つけることができ、子ども達も夏休みの1日を有意義に過ごしてくれたようで、皆さん満足そうな笑顔で帰路につかれました。

企画展示のご紹介

山形県埋蔵文化財センターでは年に数回、外部展示企画として、各地で会場をお借りして展示会を開催しています。以下に現在実施中のもの、これから実施予定

のものをご紹介します。できるだけ開催地の地元
の資料を展示するようしておりますので、お近くで
開催の節は是非足を運ばれてはいかがでしょうか。

新庄市 ゆめりあストリートギャラリー

テーマ：『最上のあけぼの』

小反遺跡 縄文時代中期末葉～複式炉が造られた竪穴住居～

9月5日（金）～10月5日（日）

主な展示遺跡：小反遺跡

・昨年は中川原C遺跡を展示し、好評をいただきました。今年は鮭川村の小反遺跡をご紹介します。



昨年の展示より



新企画

鶴岡市 櫛引公民館

テーマ：『足元には文化財』展 ～鶴岡市内の土器展示と体験講座～
10月31日（金）～11月29日（土）

主な展示遺跡：鶴岡市内の遺跡、縄文の女神（レプリカ）

・期間中に体験講座として勾玉作りを計画しています。詳しくは時期が近づきましたら、「広報つるおか」・センターホームページ等でお知らせする予定です。

山形市 遊学館1階ギャラリー

テーマ：『出土した文字資料（仮）』

12月12日（金）～1月9日（金）

主な展示遺跡：未定

・12月14日（日）に遊学館で行われる予定の『26年度発掘調査速報会』との連動企画となります。



昨年の展示より



昨年の展示より

東根市 身体障がい者保養所『東紅苑』

テーマ：『中世のくらし～小田島城跡～』

1月16日（金）～2月15日（日）

主な展示遺跡：小田島城跡

・縄文から『くらしシリーズ』で続けてきた展示も今回で5回目、中世を迎えました。東根の中世遺跡と言え、小田島城は外せません。会場の東紅苑は北村山公立病院のすぐ裏手ですので、お気軽にお立ち寄り下さい。

※展示期間・内容はいずれも予定です。都合により変更させていただくことがあります。

これからの催し物



埋文センター参観デー 『埋文まつり2014』

10月26日(日)東北文化の日
10:00～16:00 参加費無料

山形県埋蔵文化財センターを1日開放します。どなたでも参加できます。特別展示や琥珀の勾玉作り、整理作業体験や老若男女を問わず人気の弓矢体験など、丸一日考古学に浸ってみませんか?新しい発見があるかも!?

平成26年度『発掘調査速報会』

12月14日(日) 会場:「遊学館」山形県生涯学習センター
参加費無料(駐車場は4時間まで無料の予定。詳しくは開催時期が近づきましたら、ホームページ等で告知します。)

今年度の発掘成果をいち早くお届け。発掘したての土器等も展示・解説します。県内考古学ファン必聴の内容です。



考古学クイズ ～山形の遺跡編～

これまで、山形県埋蔵文化財センターでは、県内に
ある遺跡について、数多くの調査を行ってきました。

このコーナーで、少しでも県内の遺跡や文化財、考
古学に興味を持っていただければ幸いです。

Q. 昨年、東根市の八反^{はったん}遺跡の発掘で、一括出土銭としては県内最多となる、大量の古銭が、曲^{まげ}ものに納められた状態で出土しました。およそ何枚あると考えられているでしょうか?

A. ① 約 1,000 枚 ② 約 10,000 枚 ③ 約 100,000 枚

ヒントは前号にあります。答えは次号(第 54 号)の「埋文やまがた」で!
(旧号はセンターのホームページからでも見ることができます。)

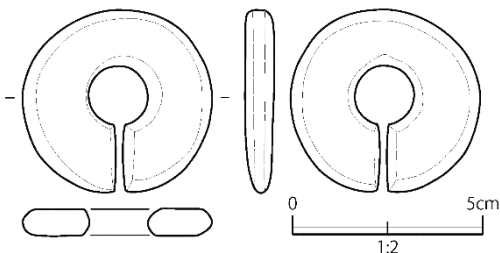
遺跡(埋蔵文化財)とは「過去の人間活動の痕跡」で、一般的には地下に埋蔵されているもののことで
す。集落跡や古墳、貝塚、城館跡など様々な種類があります。

東根市八反遺跡は、最上川右岸の自然堤防上にある集落跡で、現在は果樹園や畑が広がり、周辺の水
田より一段高くなっています。長い期間存続した遺跡で、古くは縄文時代から中世後期までの遺構が、3つ
の層になっているのが確認されました。

秘宝館

おんだし

高畠町押出遺跡出土のけつ状耳飾り



けつ状耳飾りとは、中国の腰帯に吊り下げる玦(けつ)という玉器^{ぎょつぎ}に似ていることから名づけられました。耳たぶに穴をあけ、ピアスのように耳に通して着けたと考えられています。



うきたむ風土記の丘考古資料館所蔵

押出遺跡^{おんだし}は、高畠町にある山形県の縄文時代を代表する遺跡の一つで、現在の南陽市は白竜湖^{はくりゅうこ}(当時はもっと大きかった)の湖畔に営まれた、集落の跡と考えられています。

1985年から'87年にかけて、国道13号南陽バイパスの建設工事に伴い第1～3次調査が行われ、押出遺跡^{おんだし}に特徴的な盛土遺構や押出ポイントと名付けられた石器類^{もりど}の他、美しい漆塗りの土器^{うし}(彩漆土器^{さいしつ})や縄文クッキー(クッキー状炭化物)の発見など、多くの成果を上げることができました。

このたび、国道わきを流れる排水路の改修工事に伴って20数年ぶりに第4・5次調査が行われ、新たな資料が多数出土しました。今回はその中的一个である『けつ状耳飾り』をご紹介します。

ネフライト^{なんぎよく}(軟玉)製で、写真では約1.5倍に拡大してありますが、実際の大きさは外径で約5cm。小ぶりですが、非常にいいに作られており、今でも深緑色の上品な光沢を見せています。どんな女性(男性だったかも！)が身に付けていたのでしょうか？想像がふくらみます。

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただきます。

電話023(672)5301(代表)

編集後記

数年ぶりに、出前授業を表紙にしてみました。残念ながら、講師紹介や礼状で「埋蔵文化センター」と言われることがまだまだ多く、ちょっと凹みます。でも、これからもめげずにがんばりますので、『埋蔵文化財センター』をよろしくお願いします。